

花でつなぐ、まちと人の六十年



有限会社 小樽フラワー

松ケ枝一丁目の住宅街の一角に店舗を構える(有)小樽フラワーは、開業当時から変わらぬ場所、約六十年にわたり営業を続けています。その間、季節の移ろいや時代の変化に寄り添いながら、多くの人々の人生の節目や生活を花々で彩ってきました。

同社の創業は、先代社長が「花に関わる仕事がしたい」と一念発起したことがきっかけでした。当時、公務員として重機の運転業務に従事する中で、自然や花に関わる仕事への思いが高まり、生花店の開業へと至ったそうです。

現社長の鈴木秀典さんは、高校卒業後に上京し、生花の取り扱いや色彩、店舗経営などを学べる専門学校に入学しました。卒業後は、横浜のブライダル専門の生花店で一年間、東京の生花小売店で二年間の修行を経て帰郷し、(有)小樽フラワーに入社しました。

「高校卒業後は、花への興味が半分、東京に行ってみようという気持ちで半分で上京しましたが、専門学校での学びや店舗での修行を通じて、生花店の仕事の面白さに気づき、家業を継ぐことを考え始めました」。

○目利きと技で支える日々の仕事

現在は、鈴木社長を中心に、家族や従業員とともに地域に根ざした経営を続けています。

日々の業務は、大きく①注文内容の取りまとめと業務の流れの確認、②花束やアレンジメントの制作、③配達および店頭・電話対応、④仕入れ、⑤品質管理などのメンテナンスに分類されます。

鈴木社長は主に商品の仕入れを担当しており、市場での仕入れのほか、インターネットも活用し、国内外のマーケットから安定的に商品を確保する体制を整えています。

顧客は市内の企業が中心で、帰省シーズンには仏花を購入する市外からの個人客も多く訪れます。

「自社の強みは、品質、提案力、そして取り扱う品種の多様さだと思っています。花は同じ種類でも産地や生産者によって品質が大きく異なるため、長年の経験に基づく目利きで仕入れを行っています。また、贈る相手や用途を丁寧にヒアリングし、色合いや構成を提案することで、お客様の想いを形にしています。店舗は坂の上にあります。決して好立地とは言えませんが、長年市内外から来店いただいているのは、これまでの信頼の積み重ねによるものだと思います」。



多彩な色合いの花や季節に応じた花リース、観葉植物など幅広い商品を取り扱っており、色とりどりの鮮やかなバラやガーベラが目を惹きます。自然の癒しを感じる花をぜひ日常生活に取り入れてみてください

店内は、鈴木社長のこだわりの仕入により、質の良い季節の花や植物を豊富に揃えています



贈り手の思いを伝えられるようシチュエーションやご要望・ご予算など様々なニーズに応じた花束やアレンジメントをひとつひとつ心を込めてお作りしています

花瓶がなくても飾れる器付きのコンパクトな置き型タイプやプリザーブドフラワーは贈り物や自宅用に最適です

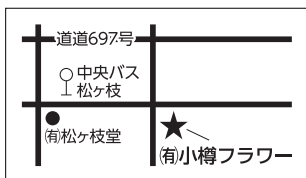
○次の世代へつなぐ店づくり
鈴木社長は、将来の展望について、「この店が小樽で長く愛され続けること、そして私自身が健康で

「花手水が広げる人とまちの輪」
コロナ禍以降、生花業界を取り巻く環境は厳しさを増しており、生産者の高齢化や減少に加え、燃料費や資材費の高騰により、供給は不安定な状況が続いています。最近では、中東情勢の悪化によりバラの価格が二倍近くに高騰し、それに伴い、国産花の価格も上昇する事態が生じているといえます。こうした中でも同社は、住吉神社と連携した花手水のイベントなどに取り組み、小樽の活性化に寄与しています。

「新型コロナウイルスの影響で冠婚葬祭やイベントが中止となり、行き場を失った花の活用が当初のコンセプトでしたが、ご好評をいただき、現在も継続しています。SNSで注目されることも多く、花手水で使われた花を買い求める方も多くいらっしゃいます。世界中から見られることにプレッシャーも感じますが、プロの技術を感じていただけるよう、質の高い表現を追求していきたいと考えています。」



有限会社 小樽フラワー
住所：小樽市松ヶ枝1丁目15番8号
TEL：0134-25-0028
定休日：1月1日
営業時間：平日 8:30～18:00
土日祝日 9:00～17:00



Facebook



Instagram

「花は人生の節目に寄り添うもの。だからこそ、プロとしてお客様に喜んでいただける仕事を続けていきたい」と語る鈴木社長の姿からは、地域に愛される店づくりを目指す職人としてのプライドが感じられました。

長く仕事を続けることが願いです。また、現在、後継者である息子が東京での修行を経て、店を継ぐ準備を進めています。若い世代の色彩感覚には驚かされることも多く、感性を生かしながら、プロとして経営を引き継いでもらえればと思っています。今後が楽しみです」と語られました。